

オーベル目黒

Ober Meguro

No. 19-011-2014作成
新築
集合住宅

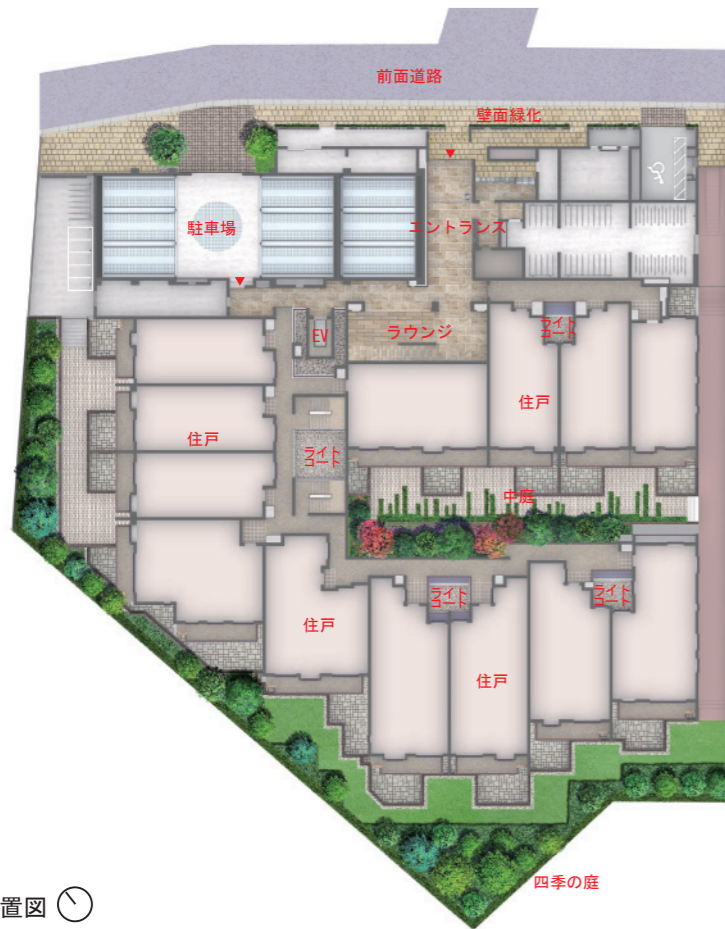
発注者	大成有楽不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	(株)安藤・間 一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	(株)安藤・間	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

静寂の中に佇む自然のぬくもり溢れる低層邸宅

奥深さを与える緑化計画

本計画地はJ R目黒駅より徒歩8分の住宅街に位置し、都心部では希少な第一種低層住居専用地域でのプロジェクトである。配置計画としては敷地のほぼ中心に中庭を抱くマスタープランとし、建物内部には共有廊下にライトコートを効果的に配置することで、光や風を邸内や住戸内まで導き入れる工夫をしている。また、エントランスの奥には、広がりや変化を与える二層吹抜けの大きな空間を設け、さらに中庭を巡る回廊のような複雑な廊下を設けることで住戸プランの多彩なバリエーションを可能にしている。一方外部空間では以下の4つの種類の多彩な緑化計画によって周辺環境及び地域へ配慮したデザインをしている。

- ①敷地中心に配した中庭の緑化
- ②敷地南側の四季を彩る樹木を植えた四季の庭
- ③歩道状空地に面した壁面緑化
- ④都市環境へ潤いをもたらす屋上緑化



配置図

中庭の緑化



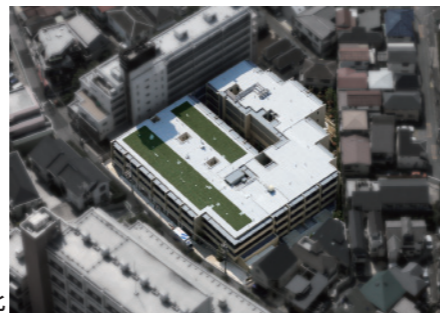
四季の庭



壁面緑化



屋上緑化



3つのラウンジのある共有空間

共有空間では、緑や光など自然の恵みを、吹抜けや中庭といった実際の建築要素として邸内まで取り入れることを意識したデザインとしている。メインエントランスは透かしレンガ積みみの壁面と間接光が映る天然御影石貼りの床で構成し、エントランスを抜けると二層吹抜けの空間を囲むように3つのラウンジを配置している。それらのラウンジはゲストラウンジ（応接）、オーナーズラウンジ（リビング）、ブックラウンジ（書斎）というそれぞれキャラクターの異なる空間とすることで、様々な人や目的で使い分けられることのできるコミュニティスペースとなるように計画している。



エントランスホール



エントランスホール



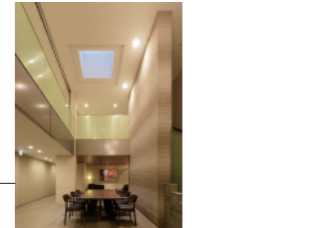
ブックラウンジ



ラウンジの断面構成



ゲストラウンジ



オーナーズラウンジ

町並みに調和した外観デザイン

第一種低層住居専用地域の緑ゆたかな町並みに調和する低層の外観としている。立面はのびやかな水平ラインとリズムカルに配したマリオンの縦ラインで構成し、華美な装飾を避けアースカラーで統一している。また、ベースとなる外壁はせっき質タイルを採用し、基壇部は割石をボーダー状に重ねることで陰影ゆたかな表情を演出した。

エントランス庇には滑らかな水磨き調の天然御影石を配し、その下部にはアクセントとなる列柱状の壁面緑化やテラコッタルーバーを採用するなど、マテリアルやテクスチャーを大胆かつ繊細に変えることで、奥深い構えを創出している。



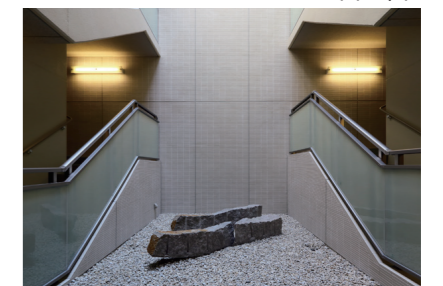
西立面

設計担当者

意匠：斉藤克弘、橋本竜一
構造：佐藤容子
設備：川崎一範



西面外観写真



ライトコート

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（外構緑化、建築緑化）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（豊かな中間領域の形成）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（エコシャフト・ライトシェルフ）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（建築緑化、日陰の形成）

建物データ

所在地 東京都目黒区
竣工年 2013年
敷地面積 2,906㎡
延床面積 6,295㎡
構造 RC造
階数 地下1階、地上3階